

# アステカの神々の復讐



ケイティフレミング

ケイティフレミング他のカテゴリーで  
バイオハウス（日本語訳付き）  
ララのマンションデストラップ  
検索デルファイについて  
汗をかくの強度、および定量  
新世界ニューライフ

もっと上で利用可能です

[www.tombraiders.net/katie/stories](http://www.tombraiders.net/katie/stories)

# アステカの神々の復讐

ケイティフレミング

## の"T

彼女がするつもりだったの拳銃、シェルと1つの散弾銃、3つの中間のパック、ミネラルウォーター、そして最後ではなく、少なくとも、私の日記帳"ララクロフトの彼女のバックパック。今日のすべての彼女の機器の包装さをめざし、非常にエキサイティングな一日だったメキシコはアステカのピラミッドは、地上から上昇していた！ ララは、すぐにそれを探索するので、彼女はすぐにはすぐに彼女にする彼女の友人のアルバート、パイロットは、電話をかけ、1つ目になれると思った。

ララ階下に行くと、フロントドアを開けた。が、右フロントの門の外に巨大な平面彼女のために待っていた。 ララは微笑んでそれに向かっていた。 アルバート平面ララのための彼の顔に大きな笑みを浮かべて待っているの横に立っていた。

"こんにちはララ！ お客様準備は万端ですか"と、大声でエンジンが彼の声を調達しようとして怒鳴った。

"何を？"とララ副バック怒鳴った。 "私はCAN聞こえないあなた！"

"気にしないで！"彼は叫んだとララの彼女は彼女の大邸宅に向けて、見て、ウィンストン彼女のクワッド自転車上で彼の昔の、唇の乾燥野生の笑みを浮かべて周りに乗っ見たインチを取得する姿勢を見せた。 彼女は彼に手を振ったと飛行機に乗り込んだ。

数分後には、梢上に飛んでいた。 ララ彼女の邸宅として徐々に衰退を見守った。

"あなたは、この新しいピラミッドの話を聞いた？"アルバートに疑問があります。

"いいえ、私は何も聞いていない！ 私はあなたに私を埋めることを願ってどうだった？"

アルバート彼の頭にうなずいた。 ララ彼女の日記を取り出し、新鮮なページを反転彼女は何か重要なミスを望んでいない。

"まあララ副社長は"彼はそこにメキシコでは非常に重要な、太陽と月のピラミッドのされた2つのピラミッドが前に、"長い時間が始まった。すべての20歳人たちは、太陽と月の新たな支配者になる人を選ぶだろうが住んでいた人々。その人は、新しい神に燃えるいけにえをオンにする彼の人生を犠牲にする必要があります。男Tecuiztecatl太陽神に選ばれた名前と、火の中に歩くように言われた。以来、彼は自分の人生を犠牲にしたくない彼は拒否！その瞬間、と賢明な男Nanahuatzinを強化という名前の古い。任意のためらいがなければ、彼は火の中に歩いて、新しい神となった。Tecuiztecatl激怒した！彼の怒りの結果として、人々は、彼は満月した神。しかし、彼は、満足していない、まだいた彼は、空を横切って旅を拒否した多くの夜の。人々はとても怒っていると なり、心配。

もし彼らが彼のために生活している犠牲Tecuiztecatlの人々は、彼だけが空を横切って移動すると言わ...と答えている。彼らの心は満月を与えるためにアウトをカットしていた。男ケツアルコアトルTecuiztecatlによって、人々の心を削除するよう命じられたし、彼にそれを与えるという。その後、Tecuiztecatl再び空の旅行を始めたしかし、彼は、彼と同様に移動停止すると人々の場合は、停止しては、彼が何を望むかを与えると警告した。

これは何年までがほとんどだった誰も左に行った。人々は、これ以上の犠牲を払ったことができる、彼らは、その結果月面停止を決めたとしても停止。もうすぐ満月変色と離れて虚空に崩壊。人の不幸を後に残った人々は、犠牲が、その恐怖は、太陽神に、Nanahuatzinのいずれかにご滞在できませんでしたが停止していたホッとした。人々の完全な暗闇の中でほんの数日前に日に戻る彼らには、解除された判決だったまでの間の日数をしてください。誰も光が戻ってきても喜んでいたこの迅速ホラー...新たなピラミッドになって地上からの最大上昇していた！象形文字のピラミッドの外側に刻まれたが、発見されたため、人々はそれ不幸をもたらすと考えている誰も、それらを読んだり墓を入力し、あえてしています。"彼はため息をついた。"それは話だけで十分だ。"

"面白い"とララ副答えた。"一度私はそこに私は、メッセージに変換されますを取得します。たぶんそれを説明する理由は、ピラミッドバラ?"ララは彼女の席に座って離れた彼女の日記を。彼女は何を期待するのは考えていた...

数時間後にララ彼女の安らかな眠りから目覚めた。彼女はあくびをして窓の外を見た。アルバートは彼ら。ララが突然の警告と、エネルギーに満ちていたピ

ラミッドが近づいていた彼女だ！彼女はほとんどのピラミッドを探検するのを待つことができます。彼女はバックパックに入れて着陸の準備ができなかった。

ビーブ、ビーブ、ビーブ音コタキナバル、コタキナバル、コタキナバル、ビーブ音、ビーブ音、コタキナバル、コタキナバル、コタキナバルすべての面ではライトが赤色に点滅した。サインアップどこでも危険だが点灯！アルバートコントロールを保つために苦労危険！平面激しく横に振った。ララ自分の席に、飛行機を左右から彼女をギュッとホールドしてみました。ビーブ音を大きくしていたの圧力増加した。

"われはララつもりだ！"とアルバート氏の声が心配の完全な怒鳴った。"ジャンプがするつもりだ。彼女が言われたグラブパラシュートを今すぐ！"ララでした。彼女はパラシュート開催された小区画を開くことをしくじった。彼女は1を取り出し、彼女にそれを確保した。彼女はアルバート同じようなことを見た。飛行機はすぐにシャットダウンすると、飛行機の反撃にあった始めていました。ララ素早く息を取り、ドアを自分自身を投げつけ合った。彼女は信じられないほどのスピードで下落初めて。その後、彼女のパラシュートを開いた彼女の救済に、彼女を安全に地面に落ちた。ララは立ち上がり、彼女のパラシュートを抽出し、地面に投げ。太陽からの彼女の目シェーディング、彼女はアルバートを探した。彼女はどこにでもあり、彼は表示されませんでした。として、飛行機が地面に墜落したと厚い轟音炎に噴火したララを見た。一瞬後に、空気散乱の部分にすべての周りが爆発した。ので、彼女はすぐに道を移動したオブジェクトのララに向けて飛んでいた。これは大きなヒープでは、上陸し血液中に覆われていた。ララそれに向かって歩いたとアルバートを発見しました。彼の右腕とオフを切断されていた彼の顔に引き裂かれた混乱。彼の足がカットされ、出血彼の目を開いて、千鳥息をした。アルバートララは涙目で見て、話すのに苦労。

"長さララ。"彼は息を呑んだ。彼女は彼の激しい痛みには言うことができる。彼はしばらく一時停止"の側の私のr -右ポケットに、"、"のr -ロックされます。それp-てください。"そして、それがすべてだった。

彼の目は彼の頭のロールバックすると、彼はまだだった。ララは目を閉じ、彼女の頭を下げた。"さようならアルバート。すべてに感謝します。"彼女は死体の横にあるダウンひざまずき、彼のポケットに達した。彼女の手小さな岩のホールドをつかんだ。これは、星の形をしていた。ララさんのリュックサックに入れてピラミッドの方を向いて...

彼女の象形文字で脱脂"うーん..."とララ副社長。彼女は自分の雑誌を取り出し、メッセージの翻訳を開始、来世Tecuciztecatlでは、Nanahuatzin私を殺すのを試みた。Tecuciztecatlはまだ非常に日になることについて怒っていた神。彼には彼は復讐をしたかった怒っていた。私は1つのピラミッドとして彼と一緒にあの世から戻ってくることを余儀なくされた。ケツアルコアトルも戻つTecuciztecatlに約束することは、誰でも自分の心が爆発し、彼は月にそれを与えるようになったの墓に入力した神。この後、彼は電源を太陽神になることをするだろう、と私は無力となる。Tecuciztecatlして私の心を取り去ると、私の体の燃えています。もし、誰も大胆不敵でいて、それらの両方を殺す助けてください強いです。それから私は戻って日中に行くことが神。慎重に入力すると、あなたと一緒にロックをしてください...

ララは、メッセージの下から、岩を取り、彼女のバックパックに入れて、これよりずっと彼女は予想していた悪い打診...神の望む復讐！彼女はどのようなことができる強力な知っていた。重い扉を開いてプッシュ、彼女は内に辞任した。

として、彼女の背後にあるドアを閉めてララ奇妙な音が聞こえた。空気恐ろしい、腐敗臭の悪臭悪臭と混合するとにおいがした。ララは、壁にされた聖火を選んだ。彼女は彼女の上に見て、天井にバットで覆われて-  
ララ見てぞっとしました。彼女は前に見て、彼女の右にある象形文字でドアを暗い部屋を見た。

ララドアの上にメッセージを読んでみようと思った瞬間後、彼女は最終的には奇妙なシンボルに変換終了した。文章を読む：ドア以外で唯一のミイラを歩くことができるスポット横たわっていた。もし誰も死ぬだろうし、唯一のミイラを聞くことができる入力叫ぶ。ララの体は、警告のレベルで震えていた。彼女を入力しますか？

ドアに向かって歩く彼女は、小さなレバーに気づいた。私は彼女とプルの好奇心、そして見てドアがゆっくり開くと、部屋の鈍い青霧に満ちを明らかにした。ララゆっくりと内側を歩き、細長いプラットフォーム上で自ら立って、地上はるかに高い。彼女は下方向に見て、部屋の中央に大きな3つの石棺を見た。4人は床を不気味な影を落として囲まれた松明。ララの部屋の反対側にある大きなドアを見ることができます。ヘビの2つの像は、ドアを守った。彼らは目には、特有の赤いきらめいて宝石だった。ララ、さらに棚の右方面に歩いて彼女は今でも、部屋の続きを見ることができます。奇妙な写真のすべての壁の上で、人々の宝石とゴールドのローブに身を包んだ選ばれました。各画像の象形文字で囲まれていた。

完全に彼女の神秘的な環境の中での吸収、ララに暗い影を彼女に近づくの通知に失敗しました...

"Erraaah ! 銅は、cu、 erraah !"ララ側に奇妙な音で彼女の頭をギュッ。2つのミイラの彼女の方へ近づいていた！ "Erraah ! Erraah !"彼らは不快感を覚える音をされた。ララ迅速に考えなければならなかった。彼女は自分の拳銃をつかみ、彼らに彼女の顔には野生の表現をすると、火災になった。残念ながら、ミイラ接近して保管して箇条書きに醜い体に跳ね返った。ララ息を呑んだ。彼女は何をやるのでしたか？彼女は彼女のピストルを入れて、地面に低くうずくまって、彼女のかたくな彼女の体の前で、手緊張...攻撃の準備が整いました。最初のミイラが進むsprang、それは手にララを目指した。"Erraah !"ララ前方に肺がある彼女の手彼女の前に差し出された。

彼女がミイラに突っ込んだ"Ooof !"ララgrunted。彼女は、その本体にして、すべての彼女の強さと、彼女は言いました。ララを見て棚の上にミイラに放り出さとりこになる、彼女の顔には当惑した様子秋。

"Erraah ! Erraah !"2番目のミイラが悲鳴をあげました。ララそれに彼女の爪の包みのは、複数の層を介してリップング彼女の小型ボディに急落した。棚の上にミイラえいせい、ララ彼女の立場を失うを失った。

として、彼女は棚の上で歩いて試練の後に、ララはため息をつきました。彼女は一見のミイラが地面に散らばっていた。灰色の液体のそれぞれのミイラの遺体からoozed。息切れ、ララのドアはすぐに部屋全体に漂ったむかつくような臭気をエスケープする破線を切らして。

"まあ、"ララ声を出して彼女によると、"私は推測する私は元の木阿弥始めたん！"彼女は、暗い部屋に向けて見て、何が入っ。ララの部屋に向かって歩いたと戸口で停止することができるか疑問に思いました。彼女の目の周りのdarted。巨大なブレードを乱暴にララ作りについて振ったの2倍を入力する方法だと思う。彼女は床に沿って、クロールのブレードを閉じるララの体に振った。1つの急激なジャーク上方ララ彼女の人生費用がかかる。彼女はしっかりと地面と彼女の体を押ししても続いた。ダッシュ！1つは、ブレードの辛うじて彼女を逃した。ララは、部屋の反対側に達し震えて立ち上がった。彼女は自分からダスト一掃し、避難のための周りをやった。いいえドアなので、ララ彼女は来た道を引き返すになって写っていた。しかし、何かは彼女の唯一のエスケープの部屋の向こう側の壁に小さな開口部にはロープをはるかに長い部屋の反対側の間でスイングするようになることを意味実現するために彼女の眼：ロープを天井のララをリードからぶら下がってキャッチ。彼女は致命的なブレードをかわすか？彼女

か？いいえ、ララは危険だと思った。それはあまりにも危険だろう。微笑広がり、顔全体ですが...私は危険が大好き！

"Erraah!"ララ、ぎりぎりの時間に彼女の手にナイフで急落してください。周辺振った。

"オウ!"ララが叫んだ。彼女が戻り周りになってロープにジャンプして、前方のブレード。ダッシュ、ダッシュ...ゾツとするようなブレードララ世界中振った、に向けて振っただけで行方不明。ララの部屋は、安全上、開会を握ったを作り、自分自身を掲げ、最終的に崩壊。

しばらくして、ララを咲かせた。彼女の手を拍動され、血を彼女の開いた傷口のは、ミイラの彼女のカットが流れ出るのだった。ララメディ彼女のバックパックのバックの内部に到達する彼女の良い手を使用します。彼女が手ララの折り返しを完成させた彼女から来ていた致命的な部屋に入って外を見ました。鋭い刃が激しく周りでも、どことどこスラッシングを振った。

ちょうどそのとき、ララのミイラを思い出した。彼女は、しかし、部屋の調査それを見ることはできませんでした。しかし、彼女は灰色のスライムの道を参照してくださいでした。彼女は自分の目でトラックに続く自分と切断されたミイラを見て発見！ブレードの床にちょっといい作品にミイラの体を分けていた。ララ、冷笑し、狭い通路ダウンを続けることになって、彼女は、トンネルの端から小さな部屋に現れ...

...ないが終了すると、小さな階段を除く。ララ汚れた床に、突然息を切らして土彼女の指は砂で床をプレイし、小さな細い岩をつかんだ。彼女はそれを拾い、それを検討した。

Rrrr, rarh!ララを見て、黒犬は彼女に正しい充電を見た！ララちゅうちょがなければ、彼女の手にされ、犬の目にはjabbed岩だった。水の液体をsquirtedのように、ララ彼女の手順を取得するために余儀なくされた。犬のgound、身動きに下落した。それでも突然の攻撃から驚いて、ララ大きく吸い込んだ。

"私は良い本にしがみついている!"ララ声を出している。彼女は自分のバックパックです。Rrrr、コタキナバル、コタキナバル...ララの岩を彼女の肩の上、見た犬の全体のバックを彼女に近づいて参照してくださいに唾然！慎重に、ステップ-で-

ステップララ、慎重にしないように彼女の足場を失うことを試みるの階段をバックアップされます。バン、バン、バン!ララ乱暴犬で撮影、彼女の拳銃百獣で狂ったように発射。一瞬後に部屋を再び。ブラッドサイレントされ、床にダウン

垂れ壁に飛び散った。不快臭ララの胃を解約した、彼女のギャグと闘争息をすること。

ララ地面には、においがララが再度病気を吐いた。しばらく後、彼女は少し良く感じた。彼女の胃も傷つけるが、彼女は上を移動する準備ができていた！

事件として即位彼女は高い階段を上って、各ステップが狭くなっ上昇した。次に、ララの小さな穴をクロールして、小さな四角形のボックスに挟ま終了しました。ララ、座ることができませんでしたが、彼女は彼女の背中に置くことができることが分かった。

*"Errr*

... うーん... ぐふっ！"ララの足がしっかりと天井に押された。彼女は、オフに上昇した天井に上向きにプッシュしていた！1つの最後の一押しでは、ララを得ることができた...石棺のうち！ララと彼女の周辺調査はすぐに彼女の前に、上記の棚から入力していた部屋からの最初の石棺から出ていた発見！ララの床に、彼女と戦っていたミイラを見て驚いたに見えた。今は彼女がクローズアップの遺体を調べることが、ララは、ミイラの目のグレー色の黒の1つのそれぞれの目の中心部にドットがまるで探していたララで右に見えた以外のことに気づいた！彼女は他の他の石棺にあっただろうか？

彼女は、真ん中の石棺の上で歩いた。仕事の大量のふたに入れていた。ふたをいくつかの小さな正方形、これが手細かいディテールで描か飾られていた。イメージは彼の手で心臓を開催男性描写の大半は、彼の顔には、悪意のある笑顔だった。

ララプル上向きのふたを手にした。ララの重い体重と緊張して開催さ厳しく、慎重に地面に設定します。石棺の中に小さな階段が暗いに下方リード明らかにした。ララは近くの聖火把握を慎重に古い砕け階段を降りて、それは彼女の前に。 *Fewww* ... *fewww*

...点滴、点滴を広げ開催。プールの血で満たされるように、彼女は新しい部屋に入って見ることができる。

体のテーブルの上には、部屋の中央には、その血狭チャンネルに3つの大型プールに実行しているうち排水横たわっていた。一部の血液は、砂床に滴り落ちるチャンネルオーバーフローしました。ララの近くに体に歩いて、見て、それを完全に布と一緒にロープで開催さに包まれた。その手首を束縛して頭の上には、バインドされていたその足を岩のテーブルに縛られて。大型のナイフのボディの胸に深く、徐々に浸透するには、赤色の血の原因と推力をされました。は、ララの内部に到達して体の包装にされて縫い付けられていた小笛を保持把握小

さなポケットに気づく。彼女はバックパックに入れてと背中に1つのプールに歩いて、ぼんやりと赤い液体を見詰めた。

誰一人、恐ろしい死があったはずララと考えられます。

"えーと...ああ!" ララ音でジャンプして回避し続ける。男は彼女に剣を即座に彼にショット! バン、バン、バン! ララ充電されました。彼はしばらく部屋の中、ゆっくりと床の下に達する前に千鳥。

"幅、誰ですか?"と彼はどもつ。

"私の名前は、ララクロフト...とですか?"

"ケツァルコアトル"男は答えた。ララ息を呑んだ。彼は人の心を取り去るために仮定され、Tecuiztecatlにそれを与える人の男は、月の神! 石棺の写真は彼の作品は! ララ彼女のピストルも強化を握った。彼女が外に取り込んだ彼女の心をしていない! 彼はララに向けて、彼の開いた傷口に把握千鳥。

"あなたは、あなたは、ピラミッドの外側にメッセージを読む...よね?"彼は尋ねた。

"実は私は行ったことの問題として。私はあなたが何を考えている知っている。今すぐあなたが私の心臓をリップングを計画してTecuiztecatlにそれを賭ける?"彼女は疑問。"私を信じては、鉱山を得ることはできません。"彼女は宣言した。

"さて私は試してみるつもりだと推測するもの通常Lララ? 私は勝つつもりだ。"彼は転送して、もう一度手にして彼の傷に剣、もう一方の吊り大まかに千鳥。

"我々だけが表示されますについては" バン、バン! ララケツァルコアトルの数回を解雇した。

"なんてこった!"沈黙。スプラッシュ! 彼に転送血のプールに向けてねじれていた及川、及川、及川ララを見た。一方、彼はプールに転落した彼の目は彼の頭のロールバックする。及川、及川ララ小さな泡の表面に速報を聞くことができ、見たとして彼の体の上方浮かべた。彼の血は彼のオーバーフローも砂床に複数のプールの原因を注いだ。

"いいえケツァルコアトル、"ララ、"私は常に勝つ話を聞いた。"とでは、ララへの階段を登って...

彼女が3番目の石棺を降りてララ空気の冷たいドラフト感じる事ができたとき、彼女は下に到着し、彼女は明るく、多くの松明に照らされていた、かなり大きな部屋で自分自身を発見した。レッドカーペットのほこりだらけの床には、部屋の焼香に囲まれた中心部にある男の背の高い像が配置されていた。アロマの部屋のにおい甘い人生のフルした。ララ部屋の周りにいくつかの、より見て、トンネルを十分にをクロールする人のため大きくはないに気づき、壁に刻まれていた。ララの部屋の最後の一目を取り、バックアップの手順に向ける。

*Siwww, siwww, siwww*。奇妙な音の空気充填。ララの砂の山のように部屋が突然、様々なトンネルの流出の周りを見回した！*Siwww, siwww*。まもなく、砂のレベルララの膝だった彼女は出ていた！ララの砂を移動するすべての彼女の強さの使用します。今腰になったが、それは非常に彼女の足を移動することは困難でした。ララの目の部屋の周りに*darted*。あるロープをどこかにしなければならなかったが、彼女は何かを見つけることができませんでした。彼女は必死に壁に耳を傾けた。ハードバンプララそれが何だった...リングを参照して彼女の頭をターンした！これは、壁には、釘付けされていたより多くて階段過去をリードする！

ララリングをつかんで、転送彼女プル。その後、彼女は隣に向かってに達した。砂はすぐに肩の高さだった。ララさらに上にプッシュ。彼女の手が彼女はそれを傷つけていたから鳴り響いて。彼女はしかし、生き残るためには決定を続けた。ララの階段を半分され、砂、ゆっくりと彼女の口をカバーした。彼女は高速移動に苦勞し、彼女の今後の輪は広がる手を洗う。ララ2番目の最後のリングのための、つかんで、それに向けて彼女の体をプルする違えました。砂はすぐに彼女の鼻の上上昇した。彼女はゆっくりと着実に息をした。彼女の手最後のリングに手を伸ばすのに苦勞が、彼女はそれを見つけることができませんでした。彼女の手を必死になって壁に検索されます。砂の彼女の頭の上に、しっかりと砂の中に彼女の体を保持した。ララはまだ彼女の息を、彼女ははるかに長いのために保持することができませんでした知っている。最後の努力によって、彼女は粗砂を介して彼女の腕を前方強制的に...必死にもう一つのチャンスを願っていた。何もないリング。ララの右手の彼女は把握されていたリングをオフに下落した。彼女の体はどうしようもなく離れて砂の中に漂流し、彼女の肺に空気を求めて悲鳴を上げ、そしてララがない希望だった... ..知っていた

"うーん！"とララ副彼女の喉で叫んだ。何かは彼女に出会った。それは大変でした..."の像！"ララと思った。砂のそれをプッシュしていた！石像、強制的にララ上向きに上昇し続けた。今では息を切らしていた彼女は、星を見たの意識を失い始めていた。石像、石棺の床の上にララの身体を強制的に1つの最後の時間を押した。

ララと急激に新鮮な空気を吸い込んだ。エアコン！彼女の肺のチョン氏と焼けてしまった。一瞬後にララ、彼女の足のように砂の中にハードに攻めてからの痛みは立ち上がった。彼女の包帯は、砂の彼女の傷を刺された彼女の手をオフに来ていた。

アウト彼女の眼の隅に、ララの像は、石棺のうち上昇した。これは、地面に落ちたと開いて入っている。緑の霧が部屋の中に注がと、地面に小さな杭を収集した。などが上昇し始めた彼女は、人間のような形状を形成しました。緑の霧が突然透明にし、徐々に色の変化を開始した。数秒後には、身体の形成に完成しました。これは、男だった... ..彼は幸せのすべてを見ていない！

"誰ですか？"男が尋ねた。

"私は、ララクロフト、あなたているわね？"

"Tecuciztecatl。"

ララ息を呑んだ。"あなたは、月の神、している場合ではないか"

"はい、私は。しかし、すぐに私は太陽される神！"と、次に2番目の一時停止大笑いした。"どこでケツァルコアトルのですか"と猛烈に要請した。

"私は彼を殺害した。"ララ、静かに自分自身にsnickering答えた。"あなたは、日ことになるだろう神？しないで誰かの心も必要ですか？"

"はい、そのくそケツァルコアトルのニュースを私のために取得するはずだった..しかし、あなたは彼を殺害した。"

"もちろん！"ララは微笑んだ。Tecuciztecatl彼女を無視した。

"じゃあ、かなり良い戦闘する必要があります...  
...まあいいけど私には自分自身をkillする必要がありますね。"彼は転送、彼の手。ララ槍を保持充電彼女の散弾銃をつかんで、彼を解雇したが、銃をdidn  
'トンは良いことと思われる。彼は近いララに来て、彼らの部屋丸。ララ瞬間、彼女の心が痛む指を伸ばし一時停止します。常に撮影あなたの指はかなり疲れさせることができます。油断している彼女の簡単な部分からキャッチ、Tecuciztecatl直接転送ララで、槍を指して肺がある。

彼進む急落"Erraah！"と彼は叫びました。彼女はすぐTecuciztecatlの先頭にジャンプして、槍の背面に手にした。彼女は、地上に着陸し、逆にロールバック

クしただけ槍の一瞬の間、再びクラブの前に移動させる。Tecuciztecatlもチャンスララの頭の後ろに槍をつきつけるを好転させるにはありませんでした。

彼は、床動かずに落ちた"カワイイ！"彼は叫んだ。

"ありがとうTecuciztecatl。"ララ話した。"私はかなり良い戦闘機ですね！"と彼女は声を出して自分自身に笑った。どのような彼女は彼と一緒にするつもりでしたか？彼女は、瞬間のために熟考して彼の心をリップングすることを決めたNanahuatzinを見つけ、彼にそれを与える。ララTecuciztecatlの頭の槍を取り出して、彼の心を掘るようになった。それから彼女は彼の心の中心部には、槍急落、それを取り出した。彼女は彼女の大扉はヘビが警備に向かって歩いたは、空気中の彼女の勝利を祝うために、高を開催しました。ララの重いドアを開けてプッシュして、自ら他の男の顔を発見！ララは地面に槍を落として、彼女の拳銃を手にした。

"いいえ、撮影しないでください！"男怒鳴った。"してください、あなたの武器を置いて！私の名前はNanahuatzinです。私は、日午前の神"ララ離れて彼女のピストルを入れて微笑んだ。

"私の名前は、ララクロフトです。私は、ピラミッドの外ではあなたのメッセージを読んでください。あなたが心配する必要はありません。ケツアルコアトルとTecuciztecatl死んでいる！私は彼ら自身の処分、"ララの勝利とは"と私はTecuciztecatlの心、それを証明する必要があります！"彼女は微笑んでは、槍を選んだ。Nanahuatzin笑顔と彼女から撮りました。

"ララありがとう！"彼は言った。"あなたは私のために多く行っている。がなければ私が殺されているだろう！しかし、私はまだ太陽神午前感謝する。ようこそ私があなたのもお願い1つだけのことだ。"彼は続けた。

"あれは何だ？"ララ尋ねている。

"私を殺すために。、私の心テイクアウト、それを破り開ける。内側の鍵です。に使用して、このドアを開ける。"彼は部屋を横切って指摘した。

"私は！"ララと答えたことはできません。

"とララ副心配しないでください。私はまだ生きているのが...他のすべての神と来世インチ 私は、太陽が非常に長い時間を神のままになります。してくださいララ。それを私を殺すと考えてはいけません。それを死後の世界を私に送り

返すことと考えてください"彼は再びにっこりとララの新しい槍を渡した。"に移動します。それは私を傷つけることはありません。"

ララ転送歩いて、彼からは、槍した。しづしづ彼女Nanahuatzin槍。むふん血傷の代わりにから浮上した。これは、充滿した部屋、およびとしてララ深く息を取ったこと甘いにおいがした。彼女はその男の顔は、見た彼の唇に優しい微笑みだった。ララ即座にはるかにマシに感じられた。彼女は彼に戻る死後の世界を知っていたと同様に彼は述べていた。彼女は、彼の心削除を慎重にそれをオープンしました。内の鍵だった。それは、国宝室。これはまさにララは何を待っていた読み取りにはいくつかのシンボルだった！

黙って別れNanahuatzinすることだ、彼女は巨大なドアの上で走り、ロックにキーを配置。圧力の膨大なロックを発表し、巨大なドアとしてリリースされたオープンしました。ララの内部と幸福と実質的にバースト辞任した。彼女は最終的には宝の部屋に達していた！ララ彼女の顔に巨大な笑顔は彼女の周りを見回した着ていた。1階の金で覆われていたとジュエリー。ゴールドカップ、小さな像ルーム溢れている。美しい水の噴水盛大に部屋の中央に立っていた。ララの噴水には、以上歩いて、真ん中に大きなゴールドカップを見た。それを人々に、そして鮮やかな宝石の縁に囲ま絵ていた。

"ウィンストンは大好きだ！"と彼女は叫んだ。彼女の金のほんの一握りを取り、空気中には投げ彼女は彼女の手の中に運んだ。ララ部屋の中をもう一度歩いて壁に切り取ら奇妙なことに気づいた。これは、ヘビのように見えた。ララの喉を急に乾燥していた彼女は水を切望した。彼女は、水のボトルと把握何か彼女のバックパックに達した。それは彼女を発見したとの犬に対して自分自身を守るために使用するロックされた！彼女は掘って深く、彼女は、ピラミッドの外側には、メッセージから得ていた残りの半分にあります。ララは微笑んで壁に岩の2つの作品を配置。完璧にフィット！その後、1階の中央部分を分けるようになった...小さな階段を明らかに。ララ慎重に階段を歩いて部屋煙霧のフルで自分自身を発見した。ララにさらに少し歩いた。何かが砂の中だったが、ララが何かは判断できませんでした。彼女は自分の手順が見に行く速まる。

"うわー！はい！"ララ畏敬の念と怒鳴った。これは、純金製のラマされました！これは完全にボディカバーの目や宝石の見事なルビーだった。彼女に持ち越された砂の山を作り、彼女は腰を下ろした。彼女は非常にしばらくの間彼女の新しい宝物を称賛し、彼女のバックパックを離陸し、内部に見えた。彼女は、水の入ったペットボトルを取り出し、一口飲んでいた。ララは、彼女の日記を取り出して、彼女のスリリングな冒険を書き始めました。彼女は袋に入れて彼女が完成し、彼女は死んだ男からだけでなく、アルバート彼女のことを

与えたロックしていた笛に気づいた彼女の日記を。彼女は、岩を見て、小さなそれをラッチに気づいた。ララは、ラッチ、および解除の岩を開いた。これは、コンパスでした！岩は水で満たされ、小ピンの真ん中に浮かんでいた。ララは微笑んだ。彼女はすぐに移動する何か喜んでいて、彼女は口笛を吹くとそれに。つぶやき、つぶやき、つぶやき！ララ爆発が行われた恐ろしい音で。つぶやき、つぶやき、つぶやき笑った！彼女は再び、再び爆発まで、彼女の空気を指名した。ララが立ち上がって部屋の反対側には小さな石の扉立って歩いた。彼女は、重い扉を開いてプッシュして、ピラミッドの裏に浮上した。その後、彼女は何か聞こえてくる。彼女はそれを。ララかと聞いて緊張を見て、ラクダの彼女の方を執行して見た。ときにそれを彼女のの前には停止し、ララを見て。

"あなたからWhere'd来る！?"彼女は、かなり彼の外見にショックを要請した。彼はララと唾で地面に見えた。

"Eww!"ララ、そして笑いを始めた叫んだ。ララどのように彼女は家に帰るつもりだったが、今、彼女に乗っていた思っていた！ラララクダに彼女のラマ苦しいと上で跳ね。彼女はその後、砂漠、夜にゆっくりと近づいてオフに乗る前に、ピラミッドの少なくとも1つの見納めをした。

ララ帰る深夜に到着した。ウィンストン眠って、台所にあった。ララは、彼の横にあるゴールドカップを配置してベッドに行きました。

次の日に...

これは27日未明だった。ララが目覚まし時計5:18で下車して行かなかった...今日、彼女が眠っていた！

アステカの神々の復讐

著作権© 2001ケイティフレミング

トゥームレイダーのララクロフト

著作権©コアの設計とアイドスインタラクティブ社